

第16週(4月13日～4月19日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

○感染性胃腸炎は、定点あたり18.2人と先週の11.2から増加し、警報レベル(定点あたり20)に近づいています。

嘔吐、下痢を主とする学級閉鎖の報告も出ています。

こまめな手洗いと、嘔吐物や下痢便は次亜塩素酸ナトリウムを使用して、適切に処理しましょう。

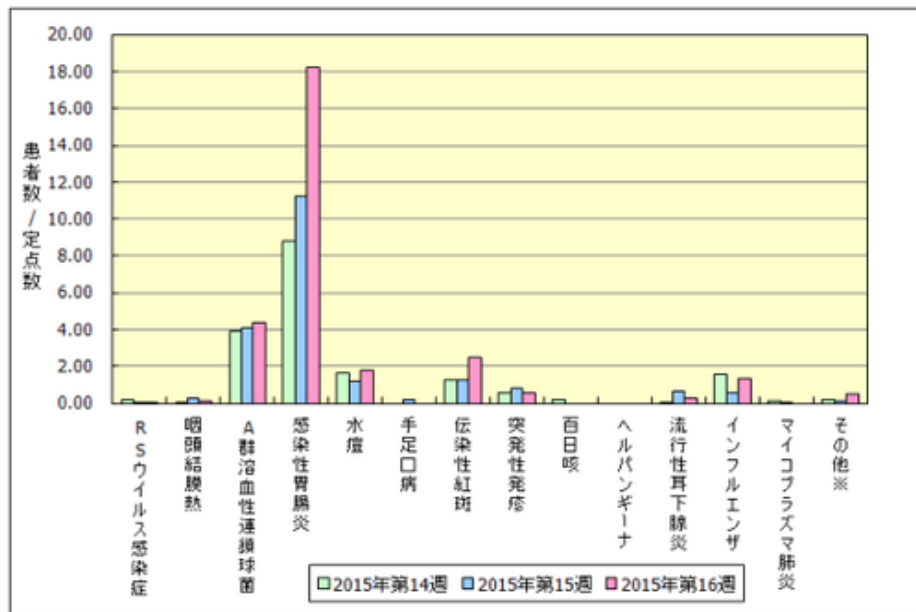
○インフルエンザは、小児科定点あたり1.4人となっています。

内訳 A型 3名・B型 16名

○伝染性紅斑(リンゴ病)が、定点あたり2.5人と急増し、警報レベルに達しました。

類に発疹が現れる時期には、ほとんど感染性はありません。

予防接種はなく、手洗い、うがい、咳エチケットが基本です。



※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第16週疾患毎発生状況グラフ

	2015年 第11週	2015年 第12週	2015年 第13週	2015年 第14週	2015年 第15週	2015年 第16週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	3 ↓	1 ↓	3 ↑	3 →	1 ↓	1 →	106
咽頭結膜熱	0 →	1 ↑	2 ↑	1 ↓	4 ↑	2 ↓	39
A群溶血性連鎖球菌	69 ↑	86 ↑	59 ↓	55 ↓	57 ↑	61 ↑	970
感染性胃腸炎	198 ↑	152 ↓	152 →	123 ↓	157 ↑	255 ↑	2756
水痘	11 ↑	24 ↑	21 ↓	23 ↑	17 ↓	25 ↑	221
手足口病	0 ↓	1 ↑	0 ↓	0 →	3 ↑	0 ↓	19
伝染性紅斑	14 →	15 ↑	15 →	18 ↑	18 →	35 ↑	251
突発性発疹	10 ↑	10 →	8 ↓	8 →	11 ↑	8 ↓	101
百日咳	2 ↑	0 ↓	3 ↑	3 →	0 ↓	0 →	15
ヘルパンギーナ	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	2
流行性耳下腺炎	5 ↓	3 ↓	5 ↑	1 ↓	9 ↑	4 ↓	114
インフルエンザ	66 ↓	43 ↓	14 ↓	22 ↑	8 ↓	19 ↑	3469
マイコプラズマ肺炎	0 ↓	1 ↑	1 →	2 ↑	1 ↓	0 ↓	11
その他※	3 ↑	2 ↓	0 ↓	3 ↑	2 ↓	7 ↑	32

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第16週疾患毎発生状況表

第16週	RSウイルス	咽頭結膜熱	連鎖球菌	A群溶血性	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他※
～5ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	0	0	0	10	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
1歳	1	0	3	27	2	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0
2歳	0	0	1	25	9	0	3	1	0	0	0	1	0	1	0
3歳	0	1	5	21	6	0	5	0	0	0	0	2	0	1	0
4歳	0	1	10	27	3	0	6	0	0	0	0	3	0	0	1
5歳	0	0	8	21	3	0	9	0	0	0	1	2	0	0	0
6歳	0	0	9	23	1	0	1	0	0	0	0	8	0	0	0
7歳	0	0	5	27	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	2
8歳	0	0	6	16	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2
9歳	0	0	7	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
10～14歳	0	0	6	31	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
10～12歳												2			
13～14歳												0			
15～19歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
20歳以上	0	0	1	14	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	1	2	61	255	25	0	35	8	0	0	4	19	0	7	0

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第16週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野
由井事務所